

第4回 環境問題セミナー

—安全・安心のための極微量分析技術—

主催 日本化学会 環境・安全推進委員会

会 期 平成 20 年 11 月 27 日 (木) 13 時 00 分～16 時 00 分

会 場 東京ビッグサイト会議棟 (東京都江東区有明 3-21-1、「全科展」会場内)

[交通] ゆりかもめ 国際展示場正門駅 下車徒歩／りんかい線 国際展示場駅 下車徒歩

募集人員 50名

内 容 極微量分析技術の需要の多くは、一昔前まで環境分析関係に限られてきた。しかしながら現在では、輸入食品の安全確認や、欧州において EU が次々に打ち出す製品中の化学物質規則等に対応するため、多くの産業で極微量分析技術が必要不可欠なものとなっている。そこで本セミナーでは、極微量分析技術の最前線で活躍されているエキスパートに、具体例を交えながら近況を解説していただく。

13:00-13:45 講演 1 微量分析技術の最前線—質量分析はイオン化法がいのち

(関西大学化学生命工学部化学物質工学科) 荒川 隆一

13:45-14:30 講演 2 環境試料および製品中の PFOS/PFOA 分析技術と POPs 条約への対応

(株) 島津テクノロジー 環境技術部) 大井 悦雅

14:30-15:15 講演 3 極微量分析用超純水の製造と適切な使用方法

(オルガノ (株) 機能商品事業部) 黒木 祥文

15:15-16:00 講演 4 高精度同位体比分析に基づく鉛摂取源の解析

(東京大学新領域創成科学研究科) 吉永 淳

参加費 5,000 円

参加申込方法 「11/27 第 4 回環境問題セミナー出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX 番号・e-mail・会員/非会員の別を明記のうえ、申込先あて e-mail (matsubara@chemistry.or.jp) にてお申込みください。

申込先 日本化学会企画部 松原 FAX03-3292-6318 E-mail:matsubara@chemistry.or.jp

問合せ 日本化学会企画部 保倉 TEL03-3292-6163 E-mail:hokura@chemistry.or.jp